

秋の朝市で 地場産PR

神奈川県相模原市
生産者組織SYC

【神奈川・相模原】

J A相模原市新規就農者連絡会の若手生産者でつくるSYC（相模原野菜生産倶楽部「くらぶ」）は10月下旬、J A本店で開かれた「さがみはらのめぐみ秋の朝市」に参加し、生産者8人が市内産の農産物をPRした。



キャベツやブロッコリー、ネギ、柿などの野菜・果実の直売のほか、厚揚げや和菓子などの農畜産物加工品を

新鮮野菜を手取る来場者（神奈川県相模原市で）

用意した。来場者は「新鮮な地場野菜が買えると知って来た。生産者の顔も見れて、安心」と話した。

SYCの和泉大樹会長は「多くの方が訪れてくれ、とても励みになった。これからも市の農業を盛り上げ、安全・安心な地場農産物の魅力も伝えていきたい」と話した。